

市西支部

委員長：神田さつ樹

1. 活動方針及び活動目標

- 1) ケア推進に向けて、保健師・訪問看護師・急性期病院・慢性期病院などそれぞれの機能に応じた取り組みについて情報共有し、地域住民の健康及び福祉の増進に向けた活動を行う。
- 2) 働き続けられる労働環境について検討し、各施設における看護職の働き方改革「タスク・シフト／シェア」や人材確保に向けた取り組みを共有し活用する。

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	参加者
定例役員会 【日本生命病院】	理事会からの報告・各職能委員会等からの報告	全10回	委員64名
定例支部会 【日本生命病院】	理事からの報告 医療安全委員会・感染管理地域ネットワーク活動・地域包括ケア委員会より、検討事項の提示 各施設からの現状報告、問題提起	全10回	施設代表者 95名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
講演会 【JCHO大阪病院・ハイブリッド】	研修名：「看護管理者に必要な概念化スキル」 講 師：(株) サフィール河野秀一氏	6月8日	115名
「看護の日・看護週間」 事業協力員派遣 【ナーシングアート大阪】	「夏休みわくわくイベント♪看護のお仕事 体験してみよう」新人ナース（2・3年目）に聞 いてみよう 担当	8月3日	5名
講演会 【JCHO大阪病院・ハイブリッド】	研修名：「看護管理における概念化スキルの 向上Ⅱ」 講 師：(株) サフィール河野秀一氏	3月22日	76名

【活動の概要】

- 1) 役員会において、各職能からの報告を受け、支部内の状況と照らし合わせた情報交換を行い、理事会へフィードバックする情報を把握した。
- 2) 支部会では、理事会の報告、連絡とともに看護協会活動への理解と参画について説明し、協力を依頼した。また、各施設で困っていることについても情報交換し、看護部長職の対応のヒントとなる検討と共有を行った。
- 3) 看護協会の教育計画やサポートシステムを活用できるように、各施設の報告内容から情報共有し、支部理事会で検討→支部会へフィードバックを行った。
- 4) 今年度から、医療安全対策委員による支部交流会の報告を支部会で実施した。様々な内容の検討を行っていることや、課題となっていることの情報が提供されることで、自院での医療安全活動を考える機会になった。

4. 課題・その他

- 1) 講演会の開催について、支部内の認定看護師に協力を依頼し、災害や高齢者看護の摂食嚥下、認知症についての知識を深めるテーマを検討する
- 2) 労働環境問題について、情報交換することはできたが、看護管理者に必要な労務管理の知識を深めるところまでには至っていないため、少しでもタイムリーに情報提供できるように、支部内での協力を求めている
- 3) 看護協会員が減少しないように、新規会員を獲得できるように、看護協会活動のアピールをすすめる